

# 「医療と産業の国際交流シンポジウム in関西」

— 新たな国際医療産業創出へのチャレンジ —

**2013年1月26日(土)** 17:00-19:35 シンポジウム (受付16:30~)  
19:40-20:45 情報交換会  
会場:メルパルク大阪 / 3F「ボヤール」

主催:一般社団法人医療国際化推進機構

共催:滋慶学園グループ 株式会社健康都市デザイン研究所

NPO法人MVCメディカルベンチャー会議 メディカル・エコ・タウンカンファレンス

協力:医師とファミリーの情報誌「Hello! Doctor」



## 第1部「医療国際化の先進事例紹介」 17:00-19:00

1

「デンマーク・スウェーデン福祉コンプレックスから脱却する

～東南アジア(中国・インドネシア)における我国のケアサービスの役割～

ロングライフホールディング株式会社  
代表取締役社長 遠藤 正一

1955年生まれ。近畿大学法学部卒、高校大学を通じ障害児のボランティア活動を行う。聖隷福祉事業団創立者、長谷川保氏の膝下で日本初のホスピスやドクターヘリコプター等様々な医療福祉事業を経験。1986年日本ロングライフ株式会社を設立。在宅ケア、都市型有料老人ホーム等の新分野を開拓。2002年大阪証券取引所上場(介護サービス専門事業第1号)他社に先駆け2011年11月中国・青島へ、2012年10月にインドネシア・ジャカルタへ進出を果たすなど、「日本のケアサービスを世界へ」と世界中を駆け回り、業界の常識を覆し続ける。芦屋女子短期大学客員教授、福祉団体顧問、理事歴任。

2

「カンボジアHHRD  
～この国を崩壊から救うために～」

医療法人社団 KNI  
理事長 北原 茂実

1953年生まれ。1979年東京大学医学部を卒業後、同大学付属病院脳神経外科にて研修。その後、三井記念病院、東京都立府中病院、帝京大学付属病院などを経て、1995年に北原脳神経外科病院を開設した。「世のため人のため、より良い医療をより安く」及び「日本の医療を輸出産業に育てる」の2つを経営理念に掲げ、医療と教育をツールとした社会開発、医療による所得の再分配を目的に、アジア各国への学校や病院建設、日本国内の医療制度の改革に尽力してきた。現在は内戦によって荒廃したカンボジアの医療供給体制を立て直すため、同国初となる総合医科大学と付属病院建設に奔走している。

※HHRD:Healthcare and Human Resource Development

3

「海外病院への資本参加による  
グローバルな成長モデルの創造」

三井物産株式会社  
メディカルヘルスケア事業第1部  
医療サービス事業室 室長 横山 賀一

アジアでは、急激な人口増加と高齢化の進行により医療需要の拡大が見込まれ、病院インフラ整備と医療の質向上が喫緊の課題となっている。こうした中、三井物産(株)は、IHHSB社への資本参加などアジアにおける病院ネットワーク事業に取り組み、日本及びアジアにおいて、医療機関等の医療界やヘルスケア関連産業との連携により、病院周辺サービス事業の拡充や新規事業開発を進めている。  
※IHHSB社は、シンガポール最大手の病院グループであるパークウェイ病院、マレーシア第二位の病院グループであるパンタイ病院を傘下に持ち、インド最大手の病院グループであるアポロ病院の一部出資する、アジア最大手の病院グループ。

## 第2部 パネルディスカッション「医療介護産業の海外展開」 19:00-19:35

座長:医療国際化推進機構理事長・京都府立医科大学学長  
ロングライフホールディング株式会社 代表取締役社長  
医療法人社団KNI 理事長  
三井物産株式会社 メディカルヘルスケア事業第1部 医療サービス事業室 室長  
医療国際化推進機構副理事長・滋慶学園グループ総長  
医療国際化推進機構理事・北浜法律事務所・外国法共同事業弁護士

吉川 敏一  
遠藤 正一  
北原 茂実  
横山 賀一  
浮舟 邦彦  
井垣 太介



## 第3部 情報交換会 4F「ソレイユ」 19:40-20:45

◆ シンポジウム参加費10,000円(当日受付でお支払下さい。)

### ◆ お申し込み

必要事項を記入の上、下記事務局までFAX又はE-mailにてお送りください。

ご氏名	ご所属	役職
TEL	FAX	E-mail

### 会場アクセス

- JR新大塚駅西出口より徒歩約6分
  - 地下鉄御堂筋線新大塚駅4番出口より徒歩約4分
- 大阪市淀川区宮原4-2-1 TEL:06-6350-2111